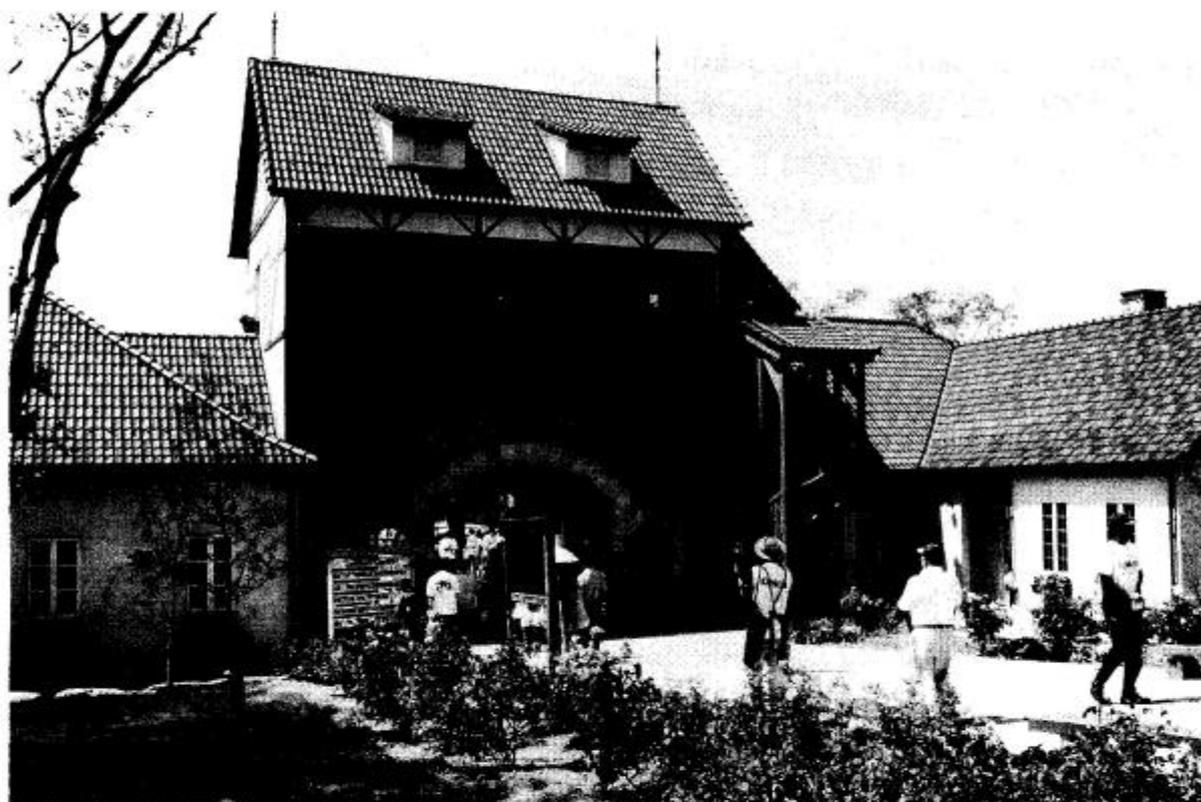


診 断 し が

《 創 刊 》

1997年秋号

No. 1



滋賀農業公園 ブルーメの丘（日野町西大路）

■ 目 次 ■

「診断しが」の創刊にあたって	支部長 夏原 達雄	1
私の独立開業	鐘井 輝	2
適切な経営仕組みの構築を	野瀬 孝臣	3
天高く地ビールが旨い秋	大谷 武重	4
あなたの寿命を診断して下さい！	竹村 義治	5
お知らせ		6

社団法人 中小企業診断協会 滋賀県支部

「診断しが」の 創刊にあたって



社団法人 中小企業診断協会滋賀県支部

支部長 夏原達雄

このたび、大谷武重先生、竹村義治先生のご盡力と、滋賀県当局のご指導のもと協会本部の財政的支援及び近畿周辺の先輩支部のご協力を得て、情報誌「診断しが」を発行する運びとなりましたことは、誠に喜ばしいことであります。

我々中小企業診断士は、個々の持てる力を結集して、組織的に社会に働きかけ、苦悩する中小企業の味方となって相談相手となることを業としております。

日本経済のビッグバンによる社会構造の変化は、中小企業に対して予想以上の打撃を与えつつあり、また、グローバル化・コンピュータ化による大きな波は、否応なしに日本経済に押し寄せ、諸企業に対応を迫っております。

このような時期に、我々中小企業診断士は、わが国唯一のマネジメント・コンサルタントの国家資格者として、診断士の知識共有化を図り、社会のニーズに役立ていかねばなりません。滋賀県支部においても、会員相互の情報交換、親睦を図りつつ、強力な組織として社会に役立つための情報誌「診断しが」であることを念じつつ創刊の辞と致します。

私の独立開業



鐘 井 輝

かねいあきら／昭和28年10月7日生まれ

立命館大学法学部卒業

同志社大学大学院経済学研究科博士課程前期在学中

一級販売士・診断士登録；平成8年度・商業部門

独立開業のきっかけ

大学卒業後20年間地元大手のスーパー株式会社平和堂に勤め、小売業一筋に生きてきました。店舗の勤務が長く、営業の最前線で販売やマネジメントに携わってきたわけですが、診断士取得のきっかけは日々の仕事に密着した販売士の学習がスタートでした。部下を教育・指導する管理職の立場になり、単なる営業上の数値目標のコントロールだけでなく、小売業の社会経済的役割・小売業に関する法令・消費者の欲求と購買行動・部下の指導養成・仕入情報と再発注技術・販売技術・経営効率と事務管理・商品知識等の知識の習得の必要性を感じたわけです。管理職に登用された当時は、中小企業診断士という資格があることも知りませんでした。販売士一級に合格後、販売士よりもさらに広範囲かつ奥深く、通産省に登録する中小企業診断士の国家試験の存在を知り、今まで小売業に従事することで蓄積した知識や経験のレベルを向上させたく受験を決意したのでした。株式会社平和堂在職中に資格を取得し、日々職務に励んでいたわけですが、いつの日からか独立開業の思いが強まり同志社大学大学院への入学後会社を円満退職しました。現在も大学院に在学中ですが、入学の理由は小売業で得た知識と経験を整理すること、最新の理論や考え方を吸収すること、今後の流通業界についてマクロ的見地から、あるべき姿を探ることです。

独立開業に当たっての問題点

三次実習終了後、診断協会の幹部からのお話の中で「毎年大企業に在籍されているかたの何人かが、資格取得後退職や独立されているようであるがはやまったことをされないように。」と述べられましたのを思い出します。今まで組織のなかである部分の役割を果たし報酬を得ていた者が、組

織を離れてすぐに社会に役立つことが行えて報酬が得られるかどうかは、大きな疑問であり、大きな不安であります。リスクを伴う独立開業に踏み切った背景と要因を考えますと、①家族の賛成が得られたこと②今後の仕事を通して個人としての能力やスキルが向上し、やる気次第で何歳までも継続できること③20年間の小売業の経験と知識が社会で役立てると確信したこと④経済的な蓄えが多少あったこと⑤通常の商売ですと店舗や在庫が必要ですが、開業資金がほとんど必要でなかったこと⑥チャレンジ精神のあったこと等が挙げられます。いずれにしても短期的に結果の良否を判断せずに長期的な展望で楽観的に物事を判断する傾向が、私にはあるようです。

独立開業後の取り組み

現在も考え方や状況について全く変わるところはないわけですが、未知の世界で生きていくためには、自分自身に実力をつけ、関わらせていただいている方々とのお縁やおつきあいを大切にしていこうと考えていることです。幸運なことには、平成8年度中小企業診断協会のシンポジウムで論文発表のチャンスを与えていただき、平成9年5月には実践経営学会全国大会で論文発表のチャンスを与えていただきました。与えられた仕事や課題には全力で取り組み、質の高い成果を生み出したいと考えています。私個人を売り込むことと同時に中小企業診断士の社会的認知度を高め、地位の向上を目指すことも使命と思っています。現在は大手民間企業とアドバイザー契約を結び、公共診断と合わせて仕事を行っています。誰も頼ることのできない実力の社会で、信頼され頼りになるプロフェッショナル診断士を目指し今後も精進していきたいと考える次第です。

適切な経営仕組みの構築を

— 品質システムを参考に —



野瀬 孝臣

(工鉱業部門 昭和54年登録)

現在も産業空洞化が進行している。製造業の中小企業数は総務庁統計では89年から94年の5年間で56,734事業所、率にして6.5%減少している。また本年度中小企業白書では、製造業における下請分業構造に大きな変容が見られ、特に小規模な企業においては廃業率が高まるなかで開業率低下が著しいと述べられている。

元来から機動性がある中小企業でも、近年は必ずしも変化への即応性を高めているとは言えない。批判の一つに、中小製造業の多くが昨今の経営環境激変にもかかわらず、国際的に比較して優位のモノ創りを怠けたり、依然として依存経営・生産重視経営を続けているからだ、との論評がある。これを是認してよいのか。

江戸時代の豪商を代表する三井家初代・高利の遺訓に「商いは的のごとし。手前よく調うときは当たらずということなし。商いに是を限りということなし。工面悪しければ商い減少す」がある。今様で言えば、商い＝市場、手前＝経営態様、と言い替えることができよう。今、経営の態様が問われる。適切な経営態様を願うならば経営仕組みの構築から始めるべきだが、現在静かに進行中のものがある。紙面の都合で多くを述べられないが、3点を挙げれば、(1)経営の品質を仕組みから見直す動き(2)経営の品質を絶えずスパイラルアップして行く仕組み作りの動き(3)アジャイル(俊敏な)経営を目指した情報技術化と自律人材の育成導入の動きであろう。

現在経営の仕組みを評価する方法として、昨年創設された日本経営品質賞審査制度がある。米国

のMB賞(マルコム・ボルドリッジ国家品質賞)から遅れをとったが、本家の米国では、大小企業を問わず企業経営者はMB賞レベルを目指して自社経営仕組みの改革に余念がないと言われている。早く言えば品質保証の国際規格(ISO-9000S)の品質システムで自社の経営仕組みをチェックしてみたら自社の問題点が早く掴めるだろう。そこで気がつくのは、①当品質システムは顧客(市場)要求の変化に対応するよう経営者による定期的システム見直しが必須となっている、②当品質システムがPDCAのサークルを回したスパイラルアップの運用である、③経営資源(人材と組織)を重視している、ことである。すなわち、前述の課題(1)は①で、(2)は②で、(3)は③に対応していることである。これは正に、適切な経営仕組み構築への基本的ステップと言えないか。

今後経営仕組みを経営環境適合型に変革していくときの要諦として、前述の基本的ステップ①②③に加えて次の5項目を挙げたい。④経営者自身が経営状況を分析し、判断能力を高めて、経営ビジョンとドメインを明確にする。⑤情報技術を駆使し業務プロセスのリードタイムを短縮し意志決定を迅速化する。⑥従業員との情報共有でインセンティブを醸成し自律的従業員を育成する。⑦自社のコア技術を明確にした上で顧客価値創造を志向する。⑧ベンチマーキング(業内外を問わず、ベスト事例を学ぶこと)で自社プロセス、仕組みを改革する。最後に述べたいことは、経営者自らが視野を広げ、経営環境の変化を受容することから改革が始まることである。

天高く 地ビールが旨い 秋



大谷 武重

(商業部門 昭和54年登録)

県内2番目の地ビールが本年4月に誕生した。滋賀酒造(株)(社長 原二郎氏、水口町三大寺)が地ビール“びわこいいみち”の製造を始め、ビアレストラン“寿賀蔵(すがくら)”を開店した。



滋賀酒造株式会社

滋賀県甲賀郡水口町三大寺39番地
TEL.0748-62-2001 FAX.0748-62-4114

地区には五穀豊饒を願い麦汁を奉納する神事が伝わる総社神社があり、わが国のビール発祥の地ともいわれている。

当社は九代続く造り酒屋で先代からビール造りを望んでいたところ平成6年の規制緩和措置により年間醸造量が2,000klから60klに引下げられ、ビール造りが実現した。

そこで昭和初期の酒蔵を改造し、太い柱と梁をそのまま生かした“寿賀蔵”を設けた。内部をビー

ル工房とレストランにガラスで仕切り、製造工程を眺めながら生ビールを味わえるユニークな店である。

酒造用の天然水を利用し、酵母が生きたままの造りたての生ビールを信楽焼のジョッキで飲むと格別うまい。

地ビールの新鮮さと酒蔵レストランの雰囲気が高評価で知名度が上り固定客も増えてきた。

地ビールは酵母が生きているため低温保存が必要であり、広域物流に適さない。大手メーカーのブランドビールが酵母を取り除き、長期保存に耐えるのとは商品特性が異なる。

地ビールは、現代の個性的な生活になじむ本物志向の健康飲物で、直販がふさわしい。

いかに新しい商品を生みだし、優れた販売力があっても地域の顧客の支持を得なければ成功しない。地域の顧客満足を得るエリアマーケティングが必要となる。当社はビールの元祖地において、地ビールで地域おこしを標榜して起業し、ネーミングも琵琶湖と近くの飯道山にちなんで“びわこいいみちビール”と名付けた。ジョッキは信楽焼であり、地域の特色を活かした営業活動を展開している。

規制緩和が生み出した地ビールのファンが増え、当地域を醸成してくれることを期待したい。

★ 主な県内立地動向 ★

(平成9年度)			(平成10年度)		
ブルーメの丘	日野町西大路	9年4月開業	専門店オーパ	大津市浜大津	10年4月予定
キャンズ高月メガマート	高月町東物部	9年5月開業	立命館大学経済・経営学部	草津市野路	10年4月予定
マックスバリュート所店	大津市におの浜	9年6月開業	新琵琶湖ホテル	大津市浜町	10年10月予定
草津近鉄百貨店	草津市洪川	9年9月開業	西友ラックヴェール水口	水口町水口	10年10月予定
新琵琶湖ホテル			びわこホール	大津市打出浜	10年10月予定
アミューズメント棟	大津市浜町	10年3月予定	ピアザ淡海	大津市におの浜	10年12月予定
生活百貨店サテイ	栗東町織	10年3月予定			

あなたの寿命を 診断して下さい!



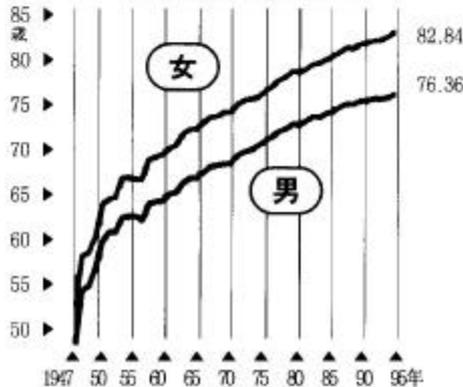
竹村 義治

(商業部門 平成5年登録)

下記の表は、日本人の平均寿命の推移を表わしたもので、1995年の平均寿命は女性が、82.84歳、男性が76.36歳で長寿は10年以上連続世界一であります。その要因は急速な医療技術の進歩、食生活の改善、生活環境の保全、乳幼児の死亡減少、皆保険制度等多岐に渡っています。

一方、わが国の労働者全体の3分の1以上は、健康診断結果に何らかの有所見を示しており、そのまま放

平均寿命の推移
(1970年以前は沖縄県を除く)



置すると成人病(この頃は生活習慣病と呼ばれている)の発症につながる割合が高くなります。生活習慣病とは、若い頃からの生活における習慣の偏りが積み重なって起きてくる病気とされ、特に喫煙・飲酒・過食(脂肪・塩分)・運動不足・ストレス等の習慣が問題となってきます。厚生省の発表による「死亡総数に占める死亡原因の割合」より、

- 第1位 がん 約28%
- 第2位 心臓病 約18%
- 第3位 脳血管疾患 約14%

この3つの病気で死亡原因の60%を占めています。これらの病気はいずれも生活習慣病と呼ばれています。さて会員の皆さんはどの病気でもって人生を終えたいですか?

正直なところどの病気にもかかりたくないのがホンネではないでしょうか。そうであるならば、日々の生活習慣を改めることをおすすめします。

昨今は健康ブームによって健康食品、健康飲料、健康グッズ、エアロピクス、エステサ

ロン等ヘルシーと名のつくものはすべてヒット商品につながっているように思われます。しかし元気で長生きしているオジイチャン、オバアチャンは戦前・戦後を通じて厳しい時代を生きぬいてこられた世代です。決して、ヘルシー商品を使ってきた世代ではありません。案外長寿の秘訣は高齢者の方々の生活スタイルが、大変参考になるかもしれません。あるオジイチャンに長寿の理由はと聞けば、「粗食・少食・多忘(くよくよしない)」を守ってきたと答えられました。

では最後に皆さん、御自分の寿命を診断して下さい。(方法は7つの質問に答え合計点数を出して判定表にあてはめて下さい。)

7つの健康習慣テスト

あなたの健康習慣は ●いくつ守っていますか●

質問項目	1点	0点
①タバコはすわない	はい	いいえ
②アルコールは大量に飲まない(1日2合以下)	はい	いいえ
③定期的に運動をしている	はい	いいえ
④体重は標準である	はい	いいえ
⑤睡眠時間は7~8時間	はい	いいえ
⑥朝食はほぼ毎日とる	はい	いいえ
⑦間食はあまりとらない	はい	いいえ
合計点数		点

判定

あなたはあと何年生きられる		●健康習慣を守らない人と比べた場合●			
性	守られる健康習慣点数	年齢			
		45歳	55	65	75
男	0~3	21.6	13.8	10.6	7.4
	4~5	28.2	20.2	13.7	10.2
	6~7	33.1	25.0	17.4	11.2
女	0~3	28.6	20.2	12.4	8.6
	4~5	34.1	25.1	17.3	11.7
	6~7	35.8	27.8	19.9	12.5

(例) 6つ以上守っている、45歳の男の方は、あと33.1年生きられますが、3つ以下の人では21.6年となり、11.5年も差があります。

お知らせ

① 滋賀県中小企業振興課より 「平成9年度経営支援アドバイス事業」 として商店診断を受託

平成9年8月18日付
現在商店診断依頼者を募集中ですので、会員より支部事務局へ申し出て下さい。

② 財 滋賀県中小企業振興公社より 「平成9年度企業診断」受託

平成9年9月8日付
近日中に説明会開催予定

③ 滋賀県小売商業支援センター 10月15日発足

支援センターには「小売商業活性化相談コーナー」が設けられ、その専門相談員として当支部会員7名が従事することになりました。
なお、支援センターでは、中小小売業者の活性化に役立つ講演会・セミナーを開催されますので、その講師として会員諸先生のご活躍を期待します。

④ 滋賀県支部研究例会の発足

研究例会（仮称）の参加希望者は28名となりました。

第1回例会は9月23日(火) 16時～18時に滋賀ビルで開催。テーマは「パソコンを活用する計数経営について」講師 横倉幸司先生（京都支部会員）

⑤ 支部研修事業の繰上げ実施

支部研修事業の9月27日(土)開催予定分を都合に

より9月23日(火)に繰上げ実施致しました。
— 日本自転車振興会補助事業 —

⑥ 近畿ブロック診断研究交流会

平成9年9月29日(月)に大阪府商工会館で大阪支部のお世話により開催、当支部から夏原支部長、中村理事、野瀬孝臣先生の3名が参加。

⑦ 支部における調査研究事業の実施

テーマ「大型店進出により苦境に立つ地元商店街の活性化具体策」で支部会員複数名のプロジェクトチームにより進行中です。
— 日本自転車振興会補助事業 —

⑧ 診断実務研修事業の実施

テーマ「攻撃型経営の創造と実践」— 5年先を見据えたパワフルな企業を実現するために—
平成9年11月28日(金)29日(土)に滋賀ビルで実施予定。
改めて連絡致します。 — 協会本部補助事業 —

⑨ 平成9年度中小企業診断士研修

平成9年11月7日(金)8日(土)実施予定、於滋賀ビル 受講申込者、9月8日現在90名。

⑩ 会 員 動 静

- 島ノ内英久先生、米国留学のため一時退会
(H9.6.1.付)
- 杉本廣太郎先生、本人都合により退会
(H9.7.11.付)



REGISTERED
MANAGEMENT
CONSULTANT

本会は、中小企業診断士相互の連携を
緊密にし、資質の向上に努めるとともに、
中小企業の振興と国民経済の健全な発
展に寄与することを目的としています。

原稿募集案内

本誌の送付対象者は、支部会員の他、県・市町
村等の関係諸機関、団体にも配布の予定ですので、
会員各位の積極的な投稿と情報提供をよろしく
お願い申し上げます。

● 原稿内容

調査・研究・講演・県内情報及び会員個人の趣
味・旅行記などをお願いします。

● 原稿作成要領

横書き 1,400字程度 一行20字
会員名・登録部門・初登録年度
顔写真同封（後日返却します）

● 原稿締切り

平成10年2月末日（第2号4月1日発行予定）

● 原稿送付先

〒520-23 野洲郡野洲町大篠原1950
竹村 義治
TEL/FAX 0775-87-0589

● 編集後記

滋賀県支部において、会員相互の連携はもとより県当局
を始めとして、市町村の関係諸機関に支部の活動及び存
在を示すために、機関誌を発行しようとする動きが数年
前よりあり、この度、夏原支部長及び執行委員の皆様の
協力のもとに「診断しが」を発行することになりました。

本機関誌は当面、春・秋の年2回を計画しております
が、将来は紙面の充実に伴い、発行回数も検討してい
きたいと考えております。

機関誌発行は大谷 武重理事、竹村 義治会員が担当
させていただきますので、会員の皆様のご協力をよろし
くお願い申し上げます。 （記 竹村 義治）

診断しが

No.1

〈1997年秋号〉

1997年10月1日発行

〈発行所〉

社団法人 中小企業診断協会
滋賀県支部

〒520 大津市島の関7-13-201
TEL (0775) 26-0281
FAX (0775) 26-0281